

繊維化樹脂舗装材「クリスタル・グレイン」 施工の手引き

無黄変タイプ 繊維化樹脂舗装用 2.2㎡・1.1㎡セット品

施工厚 10mm		2.2㎡	1.1㎡
商品名		重量	重量
クリスタル・グレイン	FRU-1000(A) 主剤	2.0kg	1.0kg
	FRU-1000(B) 強化剤	0.5kg	0.25kg
骨材 (18kg袋入り)		36kg (2袋)	18kg (1袋)

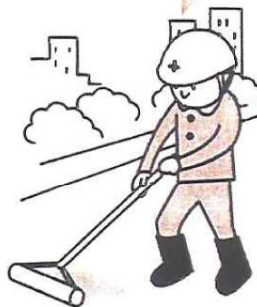
1 下地について

下地はコンクリート、セメントモルタルとし、2%程度の排水勾配をつけ、水が溜まらないよう水抜き等の処理を施してください。下地は完全に**乾燥**させた状態で施工してください。



2 準備

下地表面のゴミを除去してください。



3 プライマー塗布

下地部分にプライマーを塗布します。

作業には刷毛及びローラー刷毛を使います。

1㎡当たり0.15kg~0.2kgが目安です。

*プライマーが乾燥するまで作業には十分注意してください。

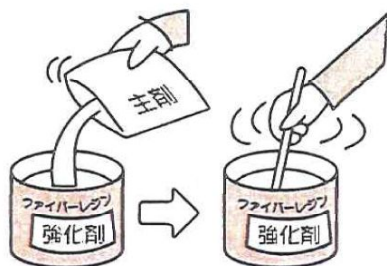
4 主剤と強化剤の混合

B剤(強化剤)の容器にA剤(主剤)を全量入れます。

(A剤<主剤>が残らないよう注意してください。)

攪拌棒等で全体がよく混ざるよう**混合**してください。

(混合が不十分ですと、硬化不良の原因になります。)



5 材料の混合(骨材)

骨材(2.2㎡は18kg×2袋)(1.1㎡は18kg×1袋)に対し前工程で混合したバインダーを投入して骨材と均一になるよう攪拌します。

(骨材全体が濡れた感じになるまで)

*容器やミキサーの底部にでき易い樹脂溜りには十分注意してください。(発泡の原因になります。)



(骨材が乾燥している事を確認してください。)

6 合材施工(敷均し)

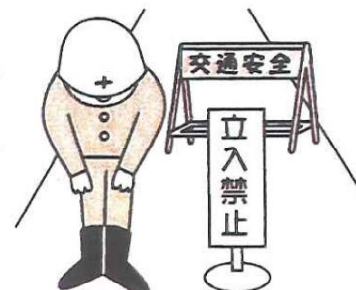
合材を施工個所に降ろしレーキ等を使って施工厚が均等になるように伸ばしていきます。仕上げは金ゴテを使用し平滑になるように十分おさえながら、同時に施工厚を確認して仕上げていきます。



7 養生

施工面が硬化完了するまで通行止めを行います。

(未硬化のうちに降雨の恐れがある場合、養生シートなどをかけておいてください。)



繊維化樹脂舗装材「クリスタル・グレイン」施工上の注意

- 雨天時の施工は避けてください。(水の混入は硬化不良及び発泡の原因になります。)
- 施工後の養生は1日(24時間)行ってください。
- 冬期、5℃以下の気温での施工は避けてください。
- 冬期は主剤の粘度が高くなり、不具合を生じる事がありますので、室内や車内等の気温の高い所に保管してください。
- 夏期炎天下での施工は、硬化が早くなりますので、主剤や骨材は日陰などの気温の低い所に保管してください。
- 所定量の主剤:強化剤をハンドミキサー等で攪拌し所定量の骨材と混合してください。
- 主剤及びプライマーは長期保存できません。開封後はできるだけ早くご使用ください。(開封のまま放置しますと、固まって使用できなくなります。)
- 風の強い日は、ほこりやゴミが付着する場合がありますので、十分に注意してください。
- 搬入された材料・骨材・機械等は雨水及び直射日光を避けて保管してください。
- 樹脂が直接肌に付着しないようゴム手袋を使用してください。(肌に付着した場合は石鹼ですぐに洗い流してください。)
- 施工後、コテや容器、モルタルミキサー等に付着した樹脂は、硬化する前にアセトンかウレタンシンナー等で洗浄してください。
- 骨材は天然石のため、採掘時期やロットにより多少色調が異なる場合があります。
- 立ち上がり面には、施工できません。

発泡(あわふき現象)についてのご注意

- 樹脂と骨材を混合する際、容器やモルタルミキサーの底部などに樹脂の塊(樹脂溜り)ができる場合があります、そのまま敷均し仕上げますとその部分だけ発泡する事がありますのでご注意ください。
- * 敷均した均一に混合された合材と混ぜ合わせ、樹脂溜りを無くし発泡を防いでください。
- 骨材は乾燥した状態のものをご使用ください。発泡の原因になります。
- 下地は乾燥させてください。発泡の原因となります。